

13 中村元博士の思惟方法

【全4回】／開催方法：現地のみ

かきはらなるひさ
笠原愛古

中村元記念館前学芸員
中村元記念館
東洋思想文化研究所
研究員



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：9月24日)

【日程・時間】【全4回】 9月28日(土) 13:20~14:50・15:00~16:30
9月29日(日) 10:30~12:00・13:20~14:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジュメ配布

この度、先生がたのご推挙により「中村元博士の思惟方法」と題して、お話をさせていただくこととなりました。私の専門は歴史の研究ですが、2013年から2020年までは中村元記念館の学芸員として、それ以降は研究員として中村博士をご紹介してきました。その経験の中で得たものを役立てていただけるならとお引き受けした次第です。

さて本講義の内容は、簡単にいえば中村博士ご自身の書かれたモノ(テキスト)から「中村博士ご自身の考え方」を明らかにしようという試みです。中村博士は「インド哲学思想」・「大乘仏教思想」・「日本思想」など多くの研究を遺しておられますが、本講義で扱うのは中村元博士の思想、いわば「中村元思想」とすれば理解されやすいでしょうか。

例えば、中村博士の『インド人の思惟方法(東洋人の思惟方法1)』にはネパール国王から中村博士宛に送られてきた「年賀状」が紹介されており、中村博士はそこに「世界一般に通ずる普遍的なもの」、「世界が次第に諸宗教の対立を超えたところに、尊ぶべきもの」を読み取ろうとされています。また、一昨年以上梓された『論点・東洋史学 アジア・アフリカへの問い158』(ミネルヴァ書房、2022)も、中村博士の著作『釈尊の生涯』(平凡社ライブラリー、2003)を紹介しつつ「中村の意図としては、一仏教徒であるか否かを問わず、人類にとって共通の精神的遺産を求めようとするための作業とされているところが興味深い」(7頁)と指摘されています。ここで重要なのは没後20年を経てもなお、中村博士のお仕事が色褪せず、学問的な領域を超えて理解されつつあるということです。

いま一つ重要なこととして、中村博士は、世界平和への道として自らの思想研究を位置付けられました。2022年2月24日には「世界秩序の危機」とされるウクライナへの侵略戦争、2023年にはパレスチナ・イスラエル戦争が起り、事態はなお進行中です。世界が混迷を深めていく中で、今わたしたちは中村元博士から何を学ぶのでしょうか。中村博士に関心のある方のみならず、中村博士の思想史研究に関心のある方の受講もお待ちしております。

【参考書】

- ①東洋思想の巨星 中村元物語 著者：中村元記念館 出版社：ハーベスト出版 出版年：2016
- ②はじめのはじまり 中村元博士少年時代の作文集 著者：中村元記念館 出版社：ハーベスト出版 出版年：2022